

良く出来ている◎(80%以上) ほぼ出来ている○(60%~80%) 努力が必要△(30%~60%) ほとんど出来ていない×(30%以下)

項目		総合評価	努力が必要または改善が必要な意見、
運営管理	1 保育理念・保育方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	◎	
	2 定期的な職員会議等を通じて職員の資質向上、業務効率化や改善に努めている	◎	
	3 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確され、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	◎	
守秘義務	1 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	◎	
	2 園内で知れた事柄について守秘義務を徹底している	◎	
安全・危機管理	1 事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある	◎	
	2 外部からの侵入者に対し対応策がなされ、訓練が行われている	◎	
	3 緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	◎	
	4 園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している	◎	
保育環境	1 保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	◎	
	2 室内の湿度・温度・換気・照明等は園児の活動に合わせて配慮している	◎	
	3 季節の草花等を飾り、保育の中で園児が季節感を感じられるような配慮を行っている	◎	
	4 屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	○	体を使っていっぱい遊ぶ。 職員同士連携し話し合い活動を考える
健康管理・衛生	1 園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映されている	◎	
	2 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心掛けている	◎	
	3 玩具・遊具等については、常に衛生的に保持している	◎	
	4 SIDS(乳児突然死症候群)や感染症等の予防対策やマニュアルが用意されている	◎	
保育内容	1 全ての園児について、ひとりひとりの最善の利益とその人権を尊重している	◎	
	2 園児にわかりやすい暖かな言葉遣いで穏やかに話をしている	○	言葉遣いは厳重に注意
	3 基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	◎	
	4 園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	○	各年齢にあった玩具の提供。古い物や揃っていない物など報告の事
	5 身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	◎	
	6 園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている	◎	
食育	1 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	◎	
	2 園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	◎	
	3 毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知らせている	◎	
	4 食物アレルギーのある園児は栄養士と職員で密に連絡を取り、除去食等で対応している	◎	
子育て支援・地域支援	1 園児の登降園時に園児の様子を保護者に伝えている。また聞いている	◎	
	2 虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	◎	
	3 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	◎	
	4 中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解している	◎	

総評・その他

社会福祉法人歩育の会の3園の園長、副園長、事務長、主任、副主任11名で各自「保育所の自己評価」を行い、評価、意見を集約し協議のうえ総合評価としました。昨年度の反省を踏まえ保育環境の3は季節感を保育の中で感じられるように工夫出来たように思います。しかし**保育環境の4**、屋外での活動の評価が下がりました。色々な行事もある中での戸外活動を各クラス担任だけではなく園全体での来年度の目標としたいと思います。**保育内容の2、4**ですが重点目標として係も決めましたが思うように改善できていないようです。監査や第三者評価、保護者アンケートでも玩具については同様の意見もございます。昨年度同様今年度も子どもたちに何が最善かを常に考え、より良い保育を目指していきたいと思ひます。

## 平成 30 年度 保育所の自己評価 各項目についての意見

### 運営管理

- ・なし

### 守秘義務

- 1・実習生や中高生ボランティアからも署名をもらうようにする。
  - ・連絡ノート、引き継ぎノートなど保護者の目の届かないところでの管理または個別ノートにする。  
(ノートを見ながら話すときに他児も見えてしまうから)

### 安全、危機管理

- 1・すぐに見ることはできるが、職員全員が周知しているか
- 2・職員は把握しているが、パートの先生も気をつけないといけないことをこまかく伝えた方が良い。

### 保育環境

- 2・機器の故障は速やかに報告。
- 3・飾る事はしていないが、製作や散歩で感じられるようにしている。
- 4・ピロティー以外でもさらに戸外へ出るように心掛けたい。

### 健康管理、衛生

- ・なし

### 保育内容

- 1・子どもの思いに寄り添うことが、できていないこともある。
- 2・全職員がみんなきれいな日本語というわけではない。
  - ・全職員が心掛けているが、保育者としての言葉遣い等更に注意したい。
  - ・以前より良くなっているが、言葉づかいの気になる職員が時々見られる。
- 4・新しく購入していただいたり、寄付で種類も増えたが扱い方や保管に課題あり。
  - ・玩具の購入する方向に向いているのであればカタログ等職員にも見てもらい、候補をしてもらい、そこから事務、園長、主任で決めていく等しても良いと思う。(実際保育をして、環境をつくっているのは担任の先生たちだから)
  - ・玩具により量の差があり、子どもの遊びにより足りない時がある。
  - ・手作り玩具を充実させたい。

### 食育

- ・なし

### 子育て支援、地域支援

- 2・パート職員への周知。
- 3・もう少しアピールが必要。
  - ・保育士体験の参加は増えたが、クラスによって参加率にかなり差が見られる。
- 4・全職員が全て把握している訳ではない。実習生のファイルはあるが、日誌の訂正はどうするのか、基本の動き等、実習生の対してのマニュアルがあっても良いのではないかと思った。

## 総評、その他

- ・職員間の連携がとれていると思う。(全体的に声をかけ合っている部分がある)あとは1人ひとりがもう少し周囲の事にも目を向けられるとより良く保育も充実したり次のステップ(ねらい)を立てられやすいのではないかとと思う。
- ・監査や第三者評価、また、研修などを通して、保育を見直す機会があり、年々改善されてきている部分は多いと感じる。保育に対する意識の高さを感じる職員も増えていると思う。恵まれた環境で保育できていると思うので、それを当たり前と思わず、このまま一人一人の意識を高めて良い所を保っていけると良いと思う。
- ・昨年と比べ見直しをはかり保育環境“3”では壁面や玄関等季節感を大切にしたり、保育内容“4”等新しい玩具の購入や乳児用に下ろしたりと改善をしてきた。今後も課題をみつけ更なる向上をはかりたい。自身では職員会議のあり方(時間、発信方法e t c)や環境整備の継続性を見直していきたい。
- ・改善に向けて、会議等では発信している。次は、その内容やルールが正しく伝わり守っていけるようにすることが課題であると思う。子どものことを第一に考えて、保育を行うことができるようにしていきたい。
- ・昨年の反省もふまえ、改善の努力を積み重ねた結果、どの項目においても概ね出来ていると感じる。ただし平成29年の3法令改定や平成30年度の要録の改定を受けての更なる改善点もあるため、今後もしっかりと取り組んでいきたい。
- ・開園から15年経っていて、備品などが古くなってきている買い替えを検討したい。どの部屋を見ても掲示物があっちこっち大きさなども不揃いで貼ってあるところをもう少し整えたい。係などは活動している係としていない係もある。職員に対しての処遇改善や福利厚生も整備されていると思う。働きやすい職場になりつつあるのでは、と感じる。
- ・第三者評価を期に、マニュアル等見直し、改正が出来た。今後は職員にどうおろしていくか考えていく必要がある。パート職員を含め、職員一人一人の意識が高く責任感がある。しかし保育が日々同じように感じることもあるので、工夫することも大切だと思う。
- ・今期中場に入り生活発表会を終えた。会場は隣のケアプラザにて前日、当日2日借りた。又11月26日市の監査を受ける。4Fということと何かに備えてと思うと考えてもきりが無いが、防災についても十分に考えている。それでも足りないことが多い。日頃の外あそびについても出来る限りでかけようとしている。園の評価としては職員間での伝達相談をかならず報告する。徹底していきたい。